

じゅん菜池のチョウ



草刈活動

撮影：2020.06.14. 禿雅子

——作成——
ジュンサイを残そう会市民の会

——活動地域——
千葉県市川市中国分 4-27：自然環境ゾーン内
(水草・水生生物保護育成及び動植物保護保全地区)

——撮影&・DATA——
田中直義・井谷暢之・禿雅子・宮城直



管理活動

撮影：2020.04.11.. 禿雅子



残したい風景

水草・水生生物保護育成及び動植物保護保全地区内の育成池／撮影：2021.04.12. 井谷暢之.



セセリチョウ科：Hesperiidae

01. ダイミョウセセリ

Daimio tethys (Ménétrières, 1857)

季節になると毎年普通に見られる。

撮影：2015.05.05. じゅん菜池：田中直義.

RD：—



セセリチョウ科：Hesperiidae

02. キマダラセセリ

Potanthus flavus (Murray, 1875)

季節になると毎年普通に見られる。

撮影：2014.08.16. じゅん菜池：田中直義.

RD：—



セセリチョウ科：Hesperiidae
03.チャパネセセリ
Pelopidas mathias (Fabricius, 1798)
 季節になると毎年普通に見られる。
 撮影：2014.09.23.じゅん菜池：田中直義。
 RD：—



セセリチョウ科：Hesperiidae
04.イチモンジセセリ
Parnara guttata (Bremer et Grey, 1852)
 季節になると毎年普通に見られる。
 撮影：2012,05,20.じゅん菜池：田中直義。
 RD：—



アゲハチョウ科：Family Papilionidae
05.ジャコウアゲハ
Atrophaneura alcinous alcinous (Klug, 1836)
 年に1～3回程度見られる。
 撮影：2017.05.05.じゅん菜池：田中直義。
 RD：—



アゲハチョウ科：Family Papilionidae
06.キアゲハ
Papilio machaon Linnaeus, 1758
 季節になると毎年普通に見られる。
 撮影：2012,04,27.じゅん菜池：田中直義。
 RD：—



アゲハチョウ科：Family Papilionidae
06.キアゲハ：若齢幼虫
Papilio machaon Linnaeus, 1758
 鳥の糞をイメージさせる。
 撮影：2005.07.17.国分5丁目：フェネル：宮城直。
 RD：—



アゲハチョウ科：Family Papilionidae
06.キアゲハ：終令幼虫
Papilio machaon Linnaeus, 1758
 アゲハ科の幼虫は若齢とは色彩が全く変わる。
 撮影：2004.07.11.国分5丁目：フェネル：宮城直。
 RD：—



アゲハチョウ科：Family Papilionidae
07.アゲハ (ナミアゲハ)：集団吸水
Papilio xuthus Linnaeus, 1767
 季節になると毎年普通に見られる。
 撮影：2020.08.31.じゅん菜池：田中直義。
 RD：—



アゲハチョウ科：Family Papilionidae
07.アゲハ (ナミアゲハ)：終令幼虫
Papilio xuthus Linnaeus, 1767
 一目でキアゲハの幼虫と見分けられる。
 撮影：2004.07.11.国分5丁目：サンショウ：宮城直。
 RD：—



アゲハチョウ科：Family Papilionidae
07.アゲハ (ナミアゲハ)：蛹。寄生蜂の羽化後。
Papilio xuthus Linnaeus, 1767
 日高敏隆(動物行動学者)の調査によると寄生率は90%以上。
 撮影：2005.07.30.国分5丁目：宮城直。
 RD：—



アゲハチョウ科：Family Papilionidae
08.クロアゲハ
Papilio protenor demetrius Stoll, 1782
 季節になると毎年普通に見られる。
 撮影：2017.09.03.じゅん菜池：田中直義。
 RD：—



アゲハチョウ科：Family Papilionidae
09.ナガサキアゲハ
Papilio memnon Linnaeus, 1758
 近年増加中で、普通に見られるようになっている。
 撮影：2015.08.25.じゅん菜池：田中直義。
 RD：—



アゲハチョウ科：Family Papilionidae
10.カラスアゲハ
Papilio dehaanii dehaanii C. Felder et R. Felder, 1864
 2・3年に一度見られる程度。
 撮影：2018.04.29.じゅん菜池：田中直義。
 RD：—



アゲハチョウ科 : Family Papilionidae
11.アオスジアゲハ
Graphium sarpedon (Linnaeus, 1758)
 季節になると毎年普通に見られる。
 撮影 : 2017.05.08.じゅん菜池 : 田中直義.
 RD : —



シロチョウ科 : Family Pieridae
12.キタキチョウ
Eurema mandarina (de l'Orza, 1869)
 季節になると毎年普通に見られる。
 撮影 : 2015. 12. 05. じゅん菜池 : 田中直義.
 RD : —



シロチョウ科 : Family Pieridae
13 モンキチョウ♂
Colias erate (Esper, [1805])
 季節になると毎年普通に見られる。
 撮影 : 2003.10.11.柳原付近 : 宮城直.
 RD : —



シロチョウ科 : Family Pieridae
13 モンキチョウ♀
Colias erate (Esper, [1805])
 ♀とは色が違い、気を付けないとモンシロチョウと誤認する。
 撮影 : 2014.06.14.じゅん菜池 : 田中直義.
 RD : —



シロチョウ科 : Family Pieridae
14.ツマキチョウ♂
Anthocharis scolymus scolymus Butler, 1866
 季節になると毎年普通に見られる。♂は翅の先端が白い。
 撮影 : 2013.04.08.じゅん菜池 : 撮影.田中直義.
 RD : —



シロチョウ科 : Family Pieridae
15.モンシロチョウ
Pieris rapae (Linnaeus, 1758)
 毎年普通に見られる。♂♀似ているが紫外線では違う。
 撮影 : 2014.10.27.じゅん菜池 : 田中直義.
 RD : —



シロチョウ科：Family Pieridae
16.スジグロシロチョウ (スジグロチョウ)
Pieris melete Ménétrières, 1857
 季節になると毎年普通に見られる。
 撮影：2015.04.22.じゅん菜池：田中直義。
 RD：—



シジミチョウ科：Family Lycaenidae
17.ゴイシジミ
Taraka hamada hamada (H. Druce, 1875)
 近年全く見られなくなった。幼虫はササのアブラムシを食う。
 撮影：2014.08.30.じゅん菜池：田中直義。
 RD：—



シジミチョウ科：Family Lycaenidae
18.ウラギンシジミ♂
Curetis acuta Moore, 1877
 季節になると毎年普通に見られ、増加中。
 撮影：2017.06.11.じゅん菜池：田中直義。
 RD：—



シジミチョウ科：Family Lycaenidae
19.ムラサキツバメ
Arhopala bazalus turbata (Butler, [1882])
 毎年普通に見られ増加中。時には集団越冬も見られる。
 撮影：2014.06.10.じゅん菜池：撮影.田中直義。
 RD：—



ジミチョウ科：Family Lycaenidae
20.ムラサキシジミ♂：翅表
Arhopala japonica (Murray, 1875)
 ムラサキシジミ類の♂の翅表は様々な金属光沢を持つ。
 撮影：：2020.10.25.じゅん菜池：田中直義。
 RD：—



ジミチョウ科：Family Lycaenidae
20.ムラサキシジミ
Arhopala japonica (Murray, 1875)
 毎年普通に見られ増加中。時には集団越冬も見られる。
 撮影：2014.06.10.じゅん菜池：撮影.田中直義。
 RD：—



シジミチョウ科 : Family Lycaenidae
21.ミズイロオナガシジミ
Antigius attilia (Bremer, 1861)
 季節になると毎年見られるが激減中。
 撮影 : 2011.06.05.じゅん菜池 : 田中直義。
 RD : —



シジミチョウ科 : Family Lycaenidae
22.アカシジミ
Japonica lutea (Hewitson, [1865])
 季節になると毎年見られるが激減中。
 撮影 : 2010.06.13.じゅん菜池 : 田中直義。
 RD : —



シジミチョウ科 : Family Lycaenidae
23.ウラナミアカシジミ
Japonica saepestriata saepestriata (Hewitson, [1865])
 季節になると毎年見られるが激減中。
 撮影 : 2015.05.31.じゅん菜池 : 田中直義。
 RD : —



シジミチョウ科 : Family Lycaenidae
24.ミドリシジミ♀ : 初記録
Neozephyrus japonicus (Murray, 1875)
 ♂は翅を拡げると青緑色に輝くが♀は黒褐色。
 撮影 : 2021.06.13.じゅん菜池 : 田中直義。
 RD : 千葉県 2019. C : 要保護生物



シジミチョウ科 : Family Lycaenidae
25.ベニシジミ
Lycaena phlaeas chinensis (C. Felder, 1862)
 季節になると毎年普通に見られる。
 撮影 : 2015. 06. 13. じゅん菜池 : 田中直義。
 RD : —



シジミチョウ科 : Family Lycaenidae
26.ウラナミシジミ
Lampides boeticus (Linnaeus, 1767)
 季節になると毎年普通に見られ。回数は増加中。
 撮影 : 2012. 09. 17. じゅん菜池 : 田中直義。
 RD : —



シジミチョウ科 : Family Lycaenidae
27. ヤマトシジミ
Zizeeria maha argia (Ménétrières, 1857)
 季節になると毎年普通に見られる。
 撮影 : 2013.07.20.じゅん菜池 : 田中直義.
 RD : —



シジミチョウ科 : Family Lycaenidae
28. ツバメシジミ
Everes argiades (Pallas, 1771)
 季節になると毎年普通に見られる。
 撮影 : 2012.04.29.じゅん菜池 : 田中直義.
 RD : —



シジミチョウ科 : Family Lycaenidae
29. ルリシジミ
Celastrina argiolus (Linnaeus, 1758)
 季節になると毎年普通に見られる。
 撮影 : 2013.06.02.じゅん菜池 : 田中直義.
 RD : —



タテハチョウ科 : Family Nymphalidae
30. テングチョウ
Libythea lepita celtoides Fruhstorfer, [1909]
 毎年見られるが個体数は少なく、年に2、3回程度。
 撮影 : 2015.06.04.じゅん菜池 : 田中直義.
 RD : —



タテハチョウ科 : Family Nymphalidae
31. アサギマダラ
Parantica sita (Kollar, [1844])
 見られない年もある一方、複数回数見られる年もある。
 撮影 : 2018.05.06.じゅん菜池 : 田中直義.
 RD : —



タテハチョウ科 : Family Nymphalidae
32. ツマグロヒョウモン♂
Argyreus hyperbius (Linnaeus, 1763)
 季節になると毎年普通に見られる。
 撮影 : 2012.05.27.じゅん菜池 : 田中直義.
 RD : —



タテハチョウ科：Family Nymphalidae
32.ツマグロヒョウモン♀
Argyreus hyperbius (Linnaeus, 1763)
 季節になると毎年普通に見られる。
 厚栄：2012.04.29.じゅん菜池：田中直義。
 RD：—



タテハチョウ科：Family Nymphalidae
32.ツマグロヒョウモン：幼虫
Argyreus hyperbius (Linnaeus, 1763)
 じゅん菜池のスマリの葉を丸裸にしてしまうことがある。
 撮影：2006.08.02.国分5丁目：すみれ：宮城直。
 RD：—



タテハチョウ科：Family Nymphalidae
33.イチモンジチョウ
Limenitis camilla (Linnaeus, 1764)
 マツクイムシ防除の農薬散布後は見られなくなった。
 撮影：2015.05.15.高尾山：田中直義。
 RD：—



タテハチョウ科：Family Nymphalidae
34.コムスジ
Neptis sappho intermedia W. B. Pryer, 1877
 季節になると毎年普通に見られる。
 撮影：2017.08.08.じゅん菜池：田中直義。
 RD：—



タテハチョウ科：Family Nymphalidae
35.キタテハ
Polygonia c-aureum (Linnaeus, 1758)
 季節になると毎年普通に見られる。
 撮影：2013.11.18.じゅん菜池：田中直義。
 RD：—



タテハチョウ科：Family Nymphalidae
36.ルリタテハ
Kaniska canace nojaponicum (von Siebold, 1824)
 季節になると毎年普通に見られる。
 撮影：2013.10.17.じゅん菜池：田中直義。
 RD：—



タテハチョウ科：Family Nymphalidae
37.ヒメアカタテハ
Vanessa cardui (Linnaeus, 1758)
 季節になると毎年普通に見られる。
 撮影：2011.09.04.じゅん菜池：田中直義。
 RD：—



タテハチョウ科：Family Nymphalidae
38.コムラサキ
Apatura metis Freyer, [1829]
 翅表は紫の燐光。季節になると毎年普通に見られる。
 撮影：2015.05.22.じゅん菜池：田中直義。
RD：千葉 2019. C：要保護生物



タテハチョウ科：Family Nymphalidae
39.アカボシゴマダラ(中国亜種の密放蝶)；春型
Hestina assimilis (Linnaeus, 1758)
 春型は赤点が消失し、一見大きなモンシロチョウに見える。
 撮影：2015.05.18.じゅん菜池：田中直義。
 RD：—



タテハチョウ科：Family Nymphalidae
39.アカボシゴマダラ(中国亜種の密放蝶)；夏型
Hestina assimilis (Linnaeus, 1758)
 季節になると毎年普通に見られる。
 撮影：2012.08.12.じゅん菜池：田中直義。
 RD：—



33.タテハチョウ科：Family Nymphalidae
40.ゴマダラチョウ
Hestina persimilis japonica (C. Felder et R. Felder, 1862)
 季節になると毎年普通に見られる。
 撮影：2020.07.08.じゅん菜池：田中直義。
RD：千葉県 2019. C：要保護生物



タテハチョウ科：Family Nymphalidae
41.オオムラサキ♂
Sasakia charonda charonda (Hewitson, [1863])
 ‘50年代まで生息していたが、現在は全く見られない。
 撮影：2021.07.16.山梨県北杜市：田中直義。
千葉県 2019.B：重要保護生物／環境省 2020. NT：準絶滅危惧



タテハチョウ科：Family Nymphalidae

41.オオムラサキ♀

Sasakia charonda charonda (Hewitson, [1863])

♀の翅表の色彩は地味。

撮影：2020.08.07.山梨県北杜市：田中直義。

千葉県 2019.B：重要保護生物／環境省 2020. NT：準絶滅危惧

RD：—



タテハチョウ科：Family Nymphalidae

42.ヒカゲチョウ (ナミヒカゲ)

Lethe sicelis (Hewitson, [1862])

季節になると毎年普通に見られる。

2014.08.26.じゅん菜池：田中直義。

RD：—



タテハチョウ科：Family Nymphalidae

43.サトキマダラヒカゲ

Neope goshkevitchii (Ménétrières, 1857)

季節になると毎年普通に見られる。

撮影：2014.05.31.じゅん菜池：田中直義。

RD：—



タテハチョウ科：Family Nymphalidae

44.ヒメジャノメ

Mycalesis gotama Moore, 1858

季節になると毎年普通に見られる。

撮影：2013.09.26.じゅん菜池：田中直義。

RD：—



タテハチョウ科：Family Nymphalidae

45.クロコノマチョウ：初記録

Melanitis phedima (Cramer, [1780])

森林性が強く、茶色一色にしか見えない地味な保護色。

撮影：2021.04.01.じゅん菜池：田中直義。

RD：—



37. ヒメアカタテハ：飛翔の一瞬

Vanessa cardui (Linnaeus, 1758)

世界各地に分布するコスモポリタン。

幼虫はキク科のハハコグサ、ヨモギなどを食う。

撮影：2016, 09, 03. じゅん菜池：田中直義。

RD：—